

令和7年度

昭島市立玉川小学校

学校経営重点計画(教育推進計画)中間報告

学校教育目標	◎精いっぱい学習する子 ○人のためにつくす子 ○すすんで体をきたえる子	ビジョン	【目指す学校像】	○最大限 子供の健やかな学びを保証する学校
			【目指す児童・生徒像】	○自らの人生を自らの力で切り拓き、持続可能な社会の創造を担う人材 ～Think Globally.Act locally.～
			【目指す教師像】	○認め合い・支え合い・高め合うチームである教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	取組の進捗状況	今後の方向性
確かな学力	「分かること・できることが楽しい」 基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、思考力、判断力、表現力等を育み、主体的に学習に取り組む態度を養う。	主体的・対話的で深い学びを実現する授業を工夫し、自らすすんで学習に取り組む児童を育成する。	授業づくりの基本の20項目をまとめた「玉小授業力スタンダード」に基づき、授業改善を行う。	4	「玉小授業力スタンダード」を20項目の5割を達成した教員が60%以上	4	授業で1日に1回以上手を挙げている児童が70%以上	2	玉川小授業力スタンダードについては、授業観察や机上などいつも見えるところに置き、すべての教員が意識できているが実際の授業においての達成状況としては不十分な部分がある。一方、授業の構成が児童の挙手にはつながっていない状況がある。
				3	「玉小授業力スタンダード」を20項目中5割を達成した教員が50%以上	3	授業で1日に1回以上手を挙げている児童が50%以上		
				2	「玉小授業力スタンダード」を20項目中5割を達成した教員が40%以上	2	授業で1日に1回以上手を挙げている児童が30%以上		
				1	「玉小授業力スタンダード」を20項目中5割を達成した教員が40%未満	1	授業で1日に1回以上手を挙げている児童が30%未満		
		インクルーシブ教育の推進とユニバーサルデザインに基づいた教室経営を図る。	昭島ユニバーサルデザインに基づく教室環境を整備し、落ち着いた学習を受けられる環境をつくる。	4	教室環境を整備した教員が80%以上	4	先生の書く黒板が分かりやすい児童が70%以上	3	学校の方針に則って、教室前方が整頓されている。黒板は授業の内容のみが掲示されるようにしている。また、児童が授業の流れが分かりやすいように授業の形式が比較的統一されている。
				3	教室環境を整備した教員が70%以上	3	先生の書く黒板が分かりやすい児童が60%以上		
豊かな心	「みんなと仲良くできて楽しい」 道徳教育の充実を図り、人権尊重の精神を醸成し、共に認め高め合い、学校は楽しいと実感できる児童の育成を目指す。	道徳的諸価値について、「価値・人間・他者」理解を深め、自己の生き方を見つめ直す道徳科授業の充実を図る。	互いを認め合う道徳授業を行い、思いやりの心をもって行動できる児童を育成する。	4	道徳諸価値を意識して道徳科授業を行っている教員が80%以上	4	学級の誰とも協力して活動ができる児童が70%以上	4	道徳の授業の充実を進めた結果、思いやりの心をもって行動できる児童が増えてきている一方で、その対象が身近な友達や慣れ親しんだ人に限られる傾向も見られる。
				3	道徳諸価値を意識して道徳科授業を行っている教員が70%以上	3	学級の誰とも協力して活動ができる児童が50%以上		
				2	道徳諸価値を意識して道徳科授業を行っている教員が60%以上	2	学級の誰とも協力して活動ができる児童が30%以上		
				1	道徳諸価値を意識して道徳科授業を行っている教員が60%未満	1	学級の誰とも協力して活動ができる児童が30%未満		
		チーム玉小でアセスメントを丁寧に行い、いじめ・不登校・自殺等の未然防止、早期解決を図る。	SOSカードを活用し、児童と教職員がコミュニケーションを深め、安心して登校できる環境をつくる。	4	SOSカードを児童に作成させた教員が80%以上	4	自分や友達のよさを認めてくれる学級と答えた児童が80%以上	4	SOSカードを活用し、担任以外にも相談する相手を児童は見付けている。特別支援委員会、不登校対策委員会、いじめ対策委員会などを中心に、学校全体で様々な角度から児童を見守っている。
				3	SOSカードを児童に作成させた教員が70%以上	3	自分や友達のよさを認めてくれる学級と答えた児童が60%以上		
健やかな体	「心も体も弾んで楽しい」 からがだ計画的に体力向上を推進し、心身ともに健康な児童の育成を目指す。	心身ともに健康で、自己管理のできるたくましい児童の育成を目指す。	「グッドモーニング60分」の活用において、「見通し」と「振り返り」を行う。	4	活用で「見通し」と「振り返り」を行った教員が80%以上	4	「グッドモーニング60分」を意識して生活している児童が70%以上	2	児童は、「グッドモーニング60分」を活用して自分自身の生活を振り返っているが、見通しが甘く、適切な目標設定ができなかったり、次の取組につながらなかったりする場合も見られる。
				3	活用で「見通し」と「振り返り」を行った教員が60%以上	3	「グッドモーニング60分」を意識して生活している児童が60%以上		
				2	活用で「見通し」と「振り返り」を行った教員が40%以上	2	「グッドモーニング60分」を意識して生活している児童が50%以上		
				1	活用で「見通し」と「振り返り」を行った教員が40%未満	1	「グッドモーニング60分」を意識して生活している児童が50%未満		
		授業・休み時間を効果的に活用し、自ら楽しみながら体力向上を図る児童を育成する。	教職員も休み時間に校庭に出て、外遊びを児童と共にし、共に遊び、模範を示す。	4	中休みに校庭で児童と活動した教員が70%以上	4	晴れた日には外遊びをしている児童が70%以上	4	授業では、玉川ストレッチで独自の体操を行い、模範を示しながら楽しく取り組んでいる。また、休み時間には企画的に、体力向上旬間を設定して、縄跳びでの俊敏性や、持久走での持久力向上などを目指している。旬間以外でも、教職員年次に関係なく、外に出て児童と一緒に学年に応じた遊びを共にしている。
				3	中休みに校庭で児童と活動した教員が60%以上	3	晴れた日には外遊びをしている児童が60%以上		
輝く未来	「みんなの役に立てて楽しい」 自己有用感を感じる機会を通して、自分には良いところがあると感じる子供を育成するとともに、キャリア教育を推進し、社会貢献力の育成を図る。	「昭島市民科」として、生活科・総合的な学習の時間の年間計画を立て、地域社会に貢献できる児童を育成する。	地域人材を活用した授業を行い、地域と学校が共にWin-winの関係をつくる。	4	地域人材を活用した授業を行った教員が80%以上	4	自分は地域の役に立っていると回答した児童が70%以上	1	総合的な学習の時間の中で研究授業などを通して意識的に人材活用をできている学年とそうでない学年に分かれている現状がある。また、指導過程の中の「発信」する項目について児童が自ら地域の役に立っているかどうかという意識にまで高めている内容になっていないところがある。
				3	地域人材を活用した授業を行った教員が60%以上	3	自分は地域の役に立っていると回答した児童が60%以上		
				2	地域人材を活用した授業を行った教員が40%以上	2	自分は地域の役に立っていると回答した児童が50%以上		
				1	地域人材を活用した授業を行った教員が40%未満	1	自分は地域の役に立っていると回答した児童が50%未満		
		児童が主体的に取り組む活動を意図的・計画的に行い、主権者としての意識を高める。	児童会・委員会・学級活動の充実を図り、主体的態度・学校を創造する態度を育成する。	4	児童が主体的に取り組む活動を行った教員が70%以上	4	学校や学級のために係や委員会を取り組んでいる児童が70%以上	4	学校全体としては、児童会が発足し、中央委員会を開催することで児童が主体的に学校を創造する活動が非常に活発になった。しかし一方クラス単位で見ると、休み時間の外遊び推進等で係活動や委員会活動を行う時間が取れず、充実していない現状がある。
				3	児童が主体的に取り組む活動を行った教員が60%以上	3	学校や学級のために係や委員会を取り組んでいる児童が60%以上		